

仙台夏の風物詩 **10周年** 8月23日(土) 24日(日) @勾当台公園

伊達祭

定期購読者限定のお得な情報満載!!
ニッポン+

8月号

伊達で **粋**な夏を刻む



東北最大級のストリートフェスとして仙台夏の風物詩となった「伊達祭」(主催伊達祭実行委員会、後援仙台市)が今年10周年を迎え、8月23、24日に仙台市中心部の青葉区の勾当台(こうどうだい)公園で開催される。東日本大震災から復興

東北最大級ストリートフェス

イベントとして地元の若者たちの手によって誕生、夏のビッグイベントに成長した。10年目はさらにパワーアップ、ボリュームアップして仙台の夏空にホットでクールなDJ、サウンド、ダンス、ストリートパフォーマンス、地元グルメやショップの出店など満載で東北の夏を盛り上げる。

復興イベントとして12年開始

日本有数のストリートパフォーマンスの祭典は、今年も熱すぎる。巨大櫓(やぐら)から仙台のクラブシーンで活躍するDJパフォーマンスや、スケートボード、ストリートバスケットボール、BMX(バイシクルモトクロス)、ダンスバトル、飲食エリアには東北えりすぐりのグルメ屋台などが集結し、伊達で粋な夏を刻む。

伊達祭は2011年(平成23)3月11日に発生した東日本大震災からの復興イベントとして、翌年に仙台の若者たちによってスタートした。コロナ禍による中止を経て、10周年の節目。伊達祭実行委員会の渡辺慎太郎委員長(44)は「被災地の手助けをしてきた、みんなで復興イベントをやりたい、というのが始まり。若者が、かっこいいというカルチャー、それをひとつに集めたイベント。当時はどこを探してもやっていなかった」と振り返る。

また「仙台の地元の人たちが集まって、仙台らしいイベントで、仙台の今を日本、世界に発信しよう」(渡辺委員長)という一貫したコンセプトで、入場無料で、誰もが気軽に若者たちのストリートカルチャーの祭典を楽しめる。昨年は2日間で計1万5723人の来場者、アーティストなどの出演者約400人、一般企業と個人協賛160社、35店舗が出店するイベントに成長した。

伊達祭のロゴマークの「達」には、仙台藩の築いた戦国武将・伊達政宗の兜(かぶと)の三日月がモチーフとして使われる。政宗は仙台に豪華絢爛(けんらん)な伝統文化を築いたことでも知られ、伊達祭の舞台となる勾当台公園は政宗が愛した盲目の狂歌師・花村勾当の屋敷があったことに由来し、現在も仙台の政治文化の中心地だ。今年もストリートパフォーマンスのシャワーを浴びて、杜(もり)の都仙台の夏を楽しもう。

▼関連情報はここから

伊達祭・開催案内

- ◆開催日 8月23日(土)、24日(日)
- ◆時間 午前10時～午後8時
- ◆開催場所 勾当台公園(仙台市青葉区国分町3の7)
- ◆アクセス
【地下鉄】仙台市地下鉄南北線「勾当台公園駅」
【バス】仙台市営バス「県庁市役所前」「定禅寺通市役所前」
【徒歩】JR仙台駅から徒歩約20分
- ◆公式ホームページ <https://datematsuri.jp/>



★応募先★

締切: 8月15日(当日必着)

応募方法 応募券1枚を1口として応募できます。右の応募券をはがきにゼロハンテープ等でしっかりと貼り、郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記の上、下記までお送り下さい。

宛先 〒104-0045 東京都中央区築地3-5-10

日刊スポーツ「8月号サンスプレゼント」係
発表: 賞品の発送をもって当選の発表とします。

